

茨城の

伝統文化

団体リスト

各種イベントに出演する
伝統文化団体を紹介します



目次

お囃子

石名坂お囃子同好会	日立市	1
子ども天神ばやし保存会	常陸太田市	1
天神ばやし保存会	常陸太田市	2
常陸大津の御船祭保存会	北茨城市	2
池田中囃子保存会	大子町・那須烏山市	3
岩間地方囃子保存会 八幡會	笠間市	3
笠間稲荷ばやし保存会	笠間市	4
近森稲荷お囃子会	笠間市	4
みなと八朔まつり実行委員会	ひたちなか市	5
瓜連おはやし保存会	那珂市	5
大助ばやし	那珂市	6
小幡ひよっとこ囃子保存会	茨城町	6
秋葉囃子保存会	茨城町	7
三鹿子ども芸座連	鹿嶋市	7
田宮囃子保存会	土浦市	8
排禍ばやし保存会	石岡市	8
貝原塚おこど囃子保存会	龍ヶ崎市	9
吉瀬三日月囃子保存会	つくば市	9
六斗ばやし保存会	つくば市	10
江戸崎囃子連	稲敷市	10
阿見町掛馬芸能保存会	阿見町	11
大町はやし	下妻市	11
平方はやし保存会	下妻市	12
とんだやばやし保存会	常総市	12
上野お囃子保存会	筑西市	13
上町おはやし保存会	筑西市	13
櫻塚おはやし保存会	筑西市	14
下町おはやし会	筑西市	14
仲町祇園囃子保存会	筑西市	15
船玉おはやし保存会	筑西市	15
神田囃子保存会	坂東市	16
猿島ばやし保存会	坂東市	16
井草大杉囃子保存会	境町	17

踊り

茨城県各流日本舞踊会 水戸市・日立市・常陸大宮市・土浦市	17	
茨城大学よさこいサークル海砂輝	水戸市	18
那珂市伝統文化日本舞踊こども教室	那珂市	18
潮来藤究会	潮来市	19
久美浦会 日舞子供体験教室	土浦市	19
櫻川流江戸芸かっぱれ后希会	土浦市	20
穂踊会	土浦市	20
美重の会	土浦市	21
龍ヶ崎舞踊協会	龍ヶ崎市	21
龍ヶ崎民踊クラブ	龍ヶ崎市	22
龍ヶ崎柳栄会	龍ヶ崎市	22
日本のおどり崑座	牛久市	23
日本のおどり崑座キッズ	牛久市	23
花柳親駒会	牛久市	24
花柳流八重花会	牛久市	24
稲敷たから音頭保存会	稲敷市	25
かすみがうら日舞子供体験教室	かすみがうら市	25
若浦流若浦会かすみがうら支部	かすみがうら市	26
賀博会	つくばみらい市	26

絹若流 若麻知会	つくばみらい市	27
曙面舞会	阿見町	27
斉真桜舟舞踊団	利根町	28
古河神楽保存会	古河市	28
日本舞踊 西川流寛美会	常総市	29

太鼓

日立太鼓連盟	日立市	29
水戸太鼓保存会	水戸市	30
やんさ太鼓保存会	ひたちなか市	30
創作和太鼓集団みのり太鼓	小美玉市	31
青山太鼓保存会	城里町	31
東海太鼓保存会	東海村	32
亀城太鼓	土浦市	32
本陣太鼓	取手市	33
牛久かっぱ太鼓	牛久市	33
常陸乃国ふるさと太鼓会	つくば市	34
琉球國祭り太鼓 茨城支部	つくば市	34
和太鼓 友	守谷市	35
和太鼓華響	つくばみらい市	35
南平台和太鼓クラブ	阿見町	36
粹人太鼓	河内町	36

琴・三味線

水戸市三曲連盟	水戸市	37
邦楽サークル“風雅”	ひたちなか市	37
琴伝流大正琴孝響ハーモニー	那珂市	38
ハープスターズ	那珂市	38
土浦三曲会	土浦市	39
取手市文化連盟水野箏曲会	取手市	39
箏曲研究室みやび	牛久市	40
津軽三味線福静会	つくば市	40
ふたつ葉会	つくば市	41
日本総合伝統芸能集団 井坂斗絲幸社中 喜楽座	阿見町	41

茶道・華道・書道

茨城県茶道連合会	水戸市他	42
黒澤睦子茶游会	東海村	42
茶道裏千家清和会	牛久市	43
筑波学院大学 表千家茶道部	つくば市	43
筑波大学 茶道部和敬清寂社	つくば市	44
かすみがうら市茶道連合会	かすみがうら市	44
表千家 青葉会	河内町	45
筑波学院大学 華道部	つくば市	45
水戸葵陵高等学校（書道部）	水戸市	46

民謡・民舞

靖秋会	水戸市	46
小原ひょっとこ保存会	笠間市	47
磯節道場	ひたちなか市	47
津軽三味線 正絃会	潮来市	48
民謡 天心会	土浦市	48
龍ヶ崎相撲甚句会	龍ヶ崎市	49
牛久相撲甚句会	牛久市	49
阿見町君島芸能保存会	阿見町	50
利根地固め唄	利根町	50

詩吟・剣舞・詩舞

常磐大学 伝統文化研究会	水戸市	51
水府流吟道吾風会	潮来市	51
常総一穂会	つくばみらい市	52
一誠流吟研舎詩吟クラブ	結城市	52

獅子舞

茨城獅子頭彫刻研究会	茨城県内	53
浅川のささら保存会	大子町	53
太子囃子獅子舞保存会	かすみがうら市	54
悪戸新田獅子舞	古河市	54
塚崎の獅子舞	境町	55

演劇

日立会演劇部	日立市	55
西塩子の回り舞台保存会	常陸大宮市	56
はつらつ一座	牛久市	56

能

東海能楽会	東海村	57
梅楓会	その他	57

その他

大根むき花保存会	水戸市	58
無比無敵流杖術保存会	ひたちなか市	58
土浦鳶職組合	土浦市	59
筑波山ガマ口上保存会	つくば市	59
筑波山がまの油売り口上研究会	つくば市、土浦市、常総市、那珂市	60
小張松下流綱火保存会	つくばみらい市	60
高岡流綱火更進団	つくばみらい市	61
下妻市伝統芸能保存連合会	下妻市	61
大塚戸芸能保存会	常総市	62
境町文化協会 民踊線歌部	境町	62

日立市

石名坂お囃子同好会

詳しくは
コチラ

石名坂町内に町民から深く信仰されている北野神社が有り、その境内に合祀されている八坂神社の祇園祭及び例祭が毎年旧暦の6月14日前後に開催している。その祭事の始まりは江戸時代頃から続けられているが、昭和31年頃に交通状況等により神輿が町内を渡御することが中止となった。その為、居祭りとなり、昭和60年頃まではお囃子の奏者によって祭りを盛り上げていた。その後、奏者の高齢化に伴い、お囃子の演奏が途絶えてた。そこで平成21年6月、町内有志を募り「石名坂お囃子同好会」を発足し、伝統文化であるお囃子3曲(①通りばやし②蛙がえし③おおぼこ)を特訓し復元した。現在の活動は町内の神事、コミュニティ推進会、敬老会、幼稚園・小学校等のイベントに出演し、伝統文化の継承・発展に努めている。



発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時期問わず

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

常陸太田市

子ども天神ばやし保存会

詳しくは
コチラ

子供天神ばやしは、地域に伝承されている天神ばやしを末永く保存すべく、平成13年6月に結成され、現在、小学3年生から6年生の児童が、毎月2回水曜日の夜に練習しています。

子供らしく元気いっぱい太鼓を打ち鳴らすことと、あいさつや返事がしっかり出来、思いやりの心を持つことを指導の一環としています。市内外のイベントにおける演奏の他、福祉施設の慰問活動にも力を入れています。

平成24年には、群馬県前橋市で開催された第14回日本太鼓ジュニアコンクールに茨城県代表として出場しました。また、平成26年第15回茨城教育の日推進大会において県から善行表彰を、同じく市教育振興大会においても善行表彰を受けました。平成28年にパーティホールで開催された「子ども伝統文化フェスティバル」では、県内各地域の伝統文化の団体とともに力一杯に天神ばやしを披露しました。

持ち曲は、「天神ばやし」「光華(かがやき)」「鼓響」など。10分前後、最長20分ぐらいまでの演奏が可能です。

発表場所

団体所在市町村近辺

発表施設

屋内・外問わず(雨天時は屋外不可)

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

内容・場所により応相談

常陸太田市

天神ばやし保存会

詳しくは
コチラ

天神ばやしは、今をさかのぼること 800 年前、室町末期から安土桃山期に常陸国を統一した佐竹氏の時代に、城下で農兵を集める際や出陣のときに打ち鳴らされた太鼓が起源と言われます。その後、それが農民の娯楽となり代々継承され、現在では常陸太田市の貴重な文化遺産となっています。

小太鼓は 2 拍子で素朴そのものですが、それに合わせて打つ大太鼓は全身の力を振り絞り、長短と強弱を巧みに織り交ぜた、勇壮果敢で躍動感にあふれるパチさばきで、往時の無骨な気性を表現した音曲となっています。天神ばやし保存会は、佐竹氏の地元常陸太田市天神林町の有志が中心となり昭和 52 年に結成され、現在は会員 22 名で、県内外の各種イベントに多数参加する他、老人ホーム等での演奏や、小学校等における指導等、伝統芸能の継承にも積極的に取り組んでいます。平成 29 年には教育・文化の向上への功績が認められ、茨城県表彰を受けました。

発表場所

関東地方、近県(福島)など

発表施設

屋内・外問わず(雨天時は屋外不可)

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

内容・場所により応相談

北茨城市

常陸大津の御船祭保存会

詳しくは
コチラ



御船祭は、北茨城市大津町に鎮座する佐波波地祇(さわわちぎ)神社の祭礼で、5年ごとの大祭に行われる。祭がいつ頃始まったのか明らかではない。御輿に乗せた神船は、水主(歌子)の歌う御船歌や囃しにあわせて500人ほどの曳き手に曳かれ、約5時間かけて浜の津神社下に到着する。船底には山車のような車輪はなく、ソロバンと呼ばれる井桁状に組んだ約300丁の木枠を敷き、2、30人の若者が船縁にとりつき左右に揺らしながら木枠の上を滑らすように曳いていく。津神社下で下船した御輿は、潮垢離の神事を行った後、神社に環御する。

発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

大子町・那須烏山市

いけ だ なか はやし ほ ぞん かい
池田中囃子保存会



古くから地域で伝承されてきた祭り囃子を愛好者が会として立ち上げ、日々研鑽しつつ、ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財の栃木県那須烏山市「山あげ祭」に囃子方として参加、年12回程度の子供はやし教室の開催、要請があれば施設等の慰問、イベントへの参加などが活動内容である。チームは大胴1、締太鼓2、鼓2、鉦1、横笛1の構成で新囃子、矢車、四丁目等12曲前後の「烏山小宅流」の曲目を奏でる。

発表場所
茨城県内

発表施設
屋内外を問わず

発表可能時期
土日祝日

発表対象
対象を問わず

謝礼
要相談

笠間市

いわ ま ち ほう はやし ほ ぞん かい
岩間地方囃子保存会

八幡會

八幡會は、昭和39年に設立された「岩間地方民謡はやし保存会」の後継団体として、昭和55年に笠間市(旧岩間町)上町地区在住の若者を中心メンバーとして設立されました。八幡會が奏する「岩間囃子」は、通説によると享保年間江戸に起こった葛西獅子が、江戸に訪れた人々によって常陸國に伝えられ岩間地方には明治の初めに伝えられたといわれています。演目は、鉦・笛・太鼓によって演奏される、撒切り、昇殿、ひよっこ、おかめ、きつね、獅子の六曲からなるお囃子と踊り獅子舞があります。笠間市下郷の総鎮守である六所神社の秋の例大祭に出演する他、年間数回程度の公演を行っています。平成9年1月23日、笠間市無形民俗文化財に指定されました。



発表場所
関東地方

発表施設
屋内外を問わず

発表可能時期
時期問わず・その他(10月~1月末は
お断りさせて頂く事があります)

発表対象
対象を問わず

謝礼
要相談

笠間市

かさ ま いなり ほ ぞん かい 笠間稲荷ばやし保存会



「笠間稲荷ばやし保存会」は、古い伝統を保存し伝えるため、昭和41年(1966年) 門前商店街の有志により発足しました。毎週火曜日、19:30～22:00(21:00)(子供) [笠間公民館大ホール] で練習しています。会の名前の由来にもなっております「稲荷ばやし」という曲は、お稲荷さんのおつかいである三匹のきつねが打ち鳴らす太鼓で、古くから城下町・門前町として栄えた笠間の氏子達が笠間稲荷神社に奉納してきた太鼓です。

叩く者のもとより、聞いている方々にも、無病息災・五穀豊穡・商売繁盛・子孫繁栄の福があると伝えられています。

HP:<http://inaribayashi.com>

発表場所

茨城県内・近県

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

笠間市

ちか もり いなり はやし かい 近森稲荷お囃子会

私達は笠間駅前の稲荷町にて創設されたお囃子会です。稲荷町町内会の組織として近森稲荷神社を中心に、笠間の祇園祭、笠間のまつり、町内盆踊りなどで演奏をしています。

また、行政との連携協力で笠間のマラソン大会、オリンピック聖火リレーなどでも演奏をしました。



発表場所

市内・近隣市町村・茨城県内

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

時期間わらず・昼夜・土日祝日

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

ひたちなか市

みなと八朔まつり実行委員会

詳しくは
コチラ ←



那珂湊天満宮御祭禮は、伝統と格式とを重んじる祭りで300年を超える歴史があります。神輿が海に入る「お浜入り」の神事を伴うのが大きな特徴です。祭礼には「獅子」と「みろく」の人形踊りが披露され、風流物と呼ばれる豪華絢爛な「屋台」が各町内を巡行します。また、雅な供奉行列は歴史絵のようで見逃せない壮大な行列です。(隔年ごとに実施)

発表場所

発表施設

発表可能時期

発表対象

謝礼

那珂市

瓜連おはやし保存会

詳しくは
コチラ ←

昔は、春の季節や秋の季節には、笛や太鼓の音色が、朝から夜更けまで聞かれたものです。それがまた唯一の楽しみであったかも知れません。身も心も祭りばやしに誘われて、古き良き時代の想い出として「なつかしい」です。私共の「瓜連おはやし保存会」は、瓜連地区の神社祭礼に伴う「おはやし」を古き良き時代の伝統として後世の方々に残したいと昭和58年4月に保存会として始めたもので、今年28年となりました。活動については、毎週水曜日の午後6時から9時まで瓜連の「総合センターらぽーる多目的ホール」を利用して練習しています。



発表場所

発表施設

問わない

問わない

発表可能時期

発表対象

謝礼

問わない

問わない

要相談

那珂市

たすけ

大助ばやし

詳しくは
コチラ

菅谷の大助祭（提灯祭）の山車上で演奏されるおはやし。「通りばやし」を主として「ひょっこ」「男ばやし」で神社へ繰り込む。境内での競演はみごとである。帰路は「四丁目」「四段返し」といったゆっくりした曲を奏す。昭和30年代に大助祭が復活したのと同時に、大助ばやしも再び演奏されるようになった。現在は3年に一度の大祭以外の年に、「大助ばやし大会」が開催され、子どもたちが普段の練習の成果を披露するよい機会になっている。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

茨城町

お ばた ばやし ほ ぞん かい 小幡ひょっこ囃子保存会

詳しくは
コチラ

「ひょっこ囃子」は茨城町小幡地区に伝わる郷土芸能です。
 茨城町小幡地区に築かれていた「小幡城」の城主が「お囃子」をことのほか好み、愛宕神社の祭礼に領民に囃子を演じさせたのが始まりといわれ、その起源は鎌倉時代とも言われています。
 内容は、「長胴、小太鼓、笛、鉦」による『お囃子』に合わせて、「きつね、おかめ、ひょっこ」などの『舞』を、様々な面や衣装を身に着けて演じるものです。
 この伝統芸能を後世に伝えるため、昭和元年に「小幡ひょっこ囃子保存会」が設立され、昭和46年9月に町の無形民俗文化財に指定されました。
 現在は会員数約30名にて伝承活動に取り組んでおり、毎年7月に茨城町小幡地区で行われる「小幡祇園祭礼」を始め、要請に応じて各種イベントに出演しております。



発表場所

関東近郊

発表施設

屋内、屋外(雨天不可)

発表可能時期

通年

発表対象

問わない

謝礼

要相談

お囃子

踊り

大鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

茨城町

あきばばやし ほぞんかい 秋葉囃子保存会

詳しくは
コチラ

秋葉ばやしは、茨城町の秋葉地区(旧足黒村)に江戸時代から村人たちにより、引き継がれてきた郷土芸能です。毎年7月の祇園祭には、五穀豊穡、無病息災を祈願し、賑やかに演じられてきたものです。演目は、「さんざり」に始まり「獅子舞」「狐踊り」「おかめ踊り」「ひょっとこ踊り」が一連の舞です。活動は祇園祭の他、町の催し物、結婚式等のアトラクション、各種施設への慰問などが主です。

なお、平成16年3月15日に町無形民俗文化財指定を受けています。



発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

土日祝日

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

鹿嶋市

みろくこ げいざれん 三鹿子ども芸座連

鹿嶋市には、佐原や潮来などのお囃子の源流と言われる「木滝阿波囃子」があります。しかしながら演奏できる人たちが少なくなり、一時期途絶えそうになりました。そこで唯一「木滝阿波囃子」の音を知っている方にご協力を頂き、櫻鈴芸座連で演奏を復活させ、これを後世にも伝えていくため、櫻鈴芸座連を指導者として「木滝阿波囃子」を中心にお囃子の保存継承を目的として市内の小学生を対象に伝承教室事業を行っており、児童で「三鹿子ども芸座連(三笠子供芸座連・かしまっ子芸座連)」を結成し、市内各所(年10回程度)で演奏しています。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

土浦市

田宮囃子保存会

詳しくは
コチラ

「田宮ばやし」は、室町時代に田宮梶ノ宮神社例祭へ奉納された神前囃子で、茨城県指定無形民俗文化財に指定されています。

このお囃子は梶ノ宮神社へ奉納されたもので、元の村（田宮村）の名をとって田宮ばやしと呼ばれています。演目は7種類あり、特に「疱瘡ばやし」は天然痘の退散を祈念するもので、独特の唄と踊りが今に伝えられています。この唄と踊りは、田宮ばやし独自のものであり、演奏に鉦を使用しないという特徴もあります。

発表場所

市内・近隣市町村・茨城県内・関東地方

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

土日祝日・要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

石岡市

排禍ばやし保存会

詳しくは
コチラ

筑波山麓の農村、主に米作りの農家の長男が受け継いできたおはやしだが、最近は、会社員が多く、土・日でも公演に出席できない方もいるため、平日の公演は、なかなか受けられないのですが、なるべく都合をつけてもらっています。はやし手（大太鼓1、小太鼓2、笛1、鉦1）の演奏に合わせて、踊り手が面をかぶり舞います。獅子舞、おかめ踊り、きつね踊り、ひょっこり踊りを一連の流れに取り入れて演じられます。後継者育成のため小学生等の参加にも力を入れています。子供達は、覚えるのが早いし、大人をよく見ているなと思います。



発表場所

茨城県内

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ支給～5万円程度

龍ヶ崎市

貝原塚おこど囃子保存会

詳しくは
コチラ

おこど囃子の由来は、徳川家光公の時代、五穀豊穰、悪病退散、さらに天下泰平を祈願するものとして、「おこど祭礼」が行われたこと。大杉神社の悪魔祓いのお囃子である「通り阿波囃子」を演奏することにより、貝原塚村が救われたのが始まりともいう。

市の祇園祭、撞舞、市の商工会祭り、社会福祉協議会の催しの際に、出演依頼を受け活動をしている。それぞれの催しの際に、「しゃんぎり囃子」「通り阿波囃子」「大杉囃子」「矢車囃子」「神田囃子」「馬鹿囃子」の6つの囃子を披露している。



発表場所

市内・近隣市町村・茨城県内・近県

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

土日祝日・要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ・要相談

つくば市

吉瀬三日月囃子保存会

詳しくは
コチラ



開催日程

- 6月16日 東原交流センター
 - 7月21日 吉瀬祇園まつり
 - 8月18日 吉瀬盆踊り
 - 8月25日 まつりつくば 2019
 - 9月上旬 つくばの杜 敬老の夕べ
 - 9月22日
 - 10月上旬
- (祇園ばやし、盆ばやし)

発表場所

団体所在市町村付近

発表施設

文化ホール等の屋内、屋外ステージ

発表可能時期

4月～10月、土、日曜日、午後

発表対象

問わない

謝礼

無償～5万円程度

つくば市

六斗ばやし保存会

詳しくは
コチラ



明治の初期に東京から伝わり100年の月日がたちつくば市の無形文化の指定を受けております。

江戸ばやしの流れをくみヒョットコ、キツネ、しし舞があります。

発表場所

関東近郊

発表施設

屋内

発表可能時期

時期問わず、日曜

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

稲敷市

江戸崎囃子連

詳しくは
コチラ

我々「江戸崎囃子連」は、江戸崎町内の若手有志が集まり、週一回の稽古や、各演奏会やイベントへの参加、福祉施設への慰問演奏などのボランティア活動を行っております。そして、それらの活動を通して、江戸崎のお囃子のルーツである「佐原囃子」や「あんば囃子」の歴史、文化の研究と、演奏技術の向上に励んでおります。近年では「悪魔祓い囃子連」として、稲敷市阿波の大杉神社の行事にも参加しております。また、年一回地元小学校にて「お囃子教室」も開催しております。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

阿見町

あみまち かけうま げいのうぼ ぞんかい 阿見町掛馬芸能保存会

詳しくは
コチラ

発足18年の団体でメンバーは3才～85才の伝統芸能、継承の団体です。太鼓、掛馬ばやし、ひょっとこ、しし舞等、太鼓と踊りの発表です。阿見町伝統技能まつり 他、年10回程発表してます。練習は月2回。



発表場所

茨城県内

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

日中

発表対象

問わない

謝礼

交通費～5万円程度

下妻市

おおまち 大町はやし

詳しくは
コチラ



疫病除けや豊作の祈願をこめた勇壮な農民の祇園囃子です。西豊田本郷（八千代町）の囃子が鬼怒川沿岸域に伝播したもののひとつで、大太鼓、小太鼓、鼓、笛、鉦により「三喜利」「可良寿」「大町太鼓」などの曲目を演じます。

発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

下妻市

平方はやし保存会

詳しくは
コチラ



当該団体は、300年以上の歴史が有り京都八坂神社にそのルーツが有ります。

台車はあんどん傘という非常に珍しい台車です。

7月自治会の夏祭り、11月の市の文化祭等に参加しています。

曲は10数曲有り、笛の音色が優雅なはやしです。

発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

常総市

とんだやばやし保存会

詳しくは
コチラ



とんだやばやしは、旧石下町の本石下、新石下で古くから夏の風物詩として行われている祇園祭において山車で演じられてきたお囃子で、明治期に富田屋(とんだや)を屋号とする宇都野酉之助が、東京深川から囃子方を招いて習得し、深川ばやしと称して方々で演じたのが始まりとされる。お囃子は「あげ」「はやし」「昇殿」「鎌倉」「四丁目」「はやし」と続く一つの構成となっており、獅子舞・神楽舞を伴い、いわゆるおかめ、ひょっとこを踊るときには「もとき(もどき)」が演じられる。現在は、「とんだやばやし保存会」がこのお囃子を後世に伝えようと、技術の向上、後継者育成に努め活動している。

発表場所

茨城県内

発表施設

どこでも

発表可能時期

通年/土日

発表対象

問わない

謝礼

無償/団体あたり5万円程度/予算に応じて

筑西市

上野お囃子保存会



夏祭りどすこいペア等に参加しています。

発表場所

団体所在市町村近辺

発表施設

屋内

発表可能時期

10月11月頃日曜日

発表対象

高齢者、外国人観光客

謝礼

交通費のみ支給

筑西市

上町おはやし保存会



私達、上町お囃子保存会は筑西市関本上町地区で活動している団体です。年間の主な活動としましては関本地区夏祭り、関本神社輪ぐり、関本神社太々神楽、どすこいペア等で活動しています。

発表場所

団体所在市町村近辺

発表施設

旅館、飲食店、福祉施設、学校等

発表可能時期

6～10月日曜昼間

発表対象

子ども、高齢者

謝礼

交通費及び弁当代

筑西市

桜塚おはやし保存会

桜塚おはやし保存会は、昭和 53 年に発足し、会員数約 40 名にて毎年 7 月に行われる八坂神社の祭礼を中心に活動しております。

近年は、各イベントに積極的に参加しており郷土の伝統芸能である関本祇園囃子の保存継承と後継者育成にも力を注いでおります。

演奏曲は約 30 分（からす・こさぎり・やぐるま・きりん・通り神楽・さんぎり・とりさんぎり・馬鹿）笛・大太鼓・小太鼓・鉦・大鼓・小鼓にての演奏です。

源流は稲敷市に鎮座する大杉神社で「アンバ囃子」になり江戸時代享保年間に伝わり現在に至ります。古くから伝わるおはやしをどうぞお楽しみ下さい。



— 伝統の祇園囃子を後世に伝えたい —
桜塚おはやし保存会



発表場所

茨城県内

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

要相談

発表対象

問わない

謝礼

要相談

筑西市

下町おはやし会

私たち下町おはやし会は、筑西市関本下町地区に伝わるお囃子の保存と伝承のために平成7年に結成されました。翌年には山車を新調し、約 30 名の会員が年間を通して練習に励んでいます。

演奏する曲は、昔から地区に伝わる曲だけにとらわれず、新しい曲にも積極的に取り組んでいます。そのために外部との交流にも力を入れています。

地元の関本祇園祭を中心に、どすこいペア、わっしょいカーニバル、その他のイベントにも積極的に参加しています。

今後も、技術の向上と伝達のために努力を続けていくつもりです。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

筑西市

仲町祇園囃子保存会

・由来

仲町は、筑西市(旧関城町)西部関本地区の鬼怒川沿いで、その昔、河川が主要な交通機関であったころ、江戸の打ち囃子が、長雨や嵐等で船方や荷主、旅人が滞在したときに教え伝えられたといわれている。その年代は、定かではないが、古老の話によれば、1700年頃前からと伝えられている。それが明治時代に入り夏祭りのお囃子として、今日まで伝承されている。

・保存会の活動

仲町のお囃子は、この地域では最も早くから保存会を結成し、現在12曲ほど受け継いでいます。これらを正しく保存し、伝承することがこの会の使命であり目的でもあります。

夏祭り時期は、仲町集落の小中学生に伝承、指導し地域の大人と子供たちとの交流を通して郷土愛や健全育成を図っています。昭和53年茨城県バラ賞を受賞しました。またこれまでに種々の競技大会や披露会に参加をし、世紀の祭典“つくば科学博覧会”に出演依頼を受け多数観客のなか数回にわたり演奏を披露しました。

会員は、10代から60代までと年代は幅広く、「明るく、楽しく、かっこよく」で2代3代の会員もおり、特に近年女性が入会しこれに刺激を受け若者の会員が増えています。



発表場所

筑西市近辺

発表施設

屋内外 施設を問わず

発表可能時期

時期間わず土日10:00～

発表対象

対象を問わず

謝礼

5万円程度(団体あたり)

筑西市

船玉おはやし保存会



当保存会は、江戸時代享保年間に鬼怒川の舟運によって伝わったとされる大杉囃子を源流とする関本の祇園囃子を保存継承する団体です。

演奏曲は、「ぶつきり」「からす」「矢車」「をなが」「しっちょうめ」「こさぎり」「通り神楽」「きりん」などこの地域に古くから伝わる曲を演奏いたします。

発表場所

団体所在市町村近辺

発表施設

屋外ステージ

発表可能時期

要相談

発表対象

要相談

謝礼

交通費のみ支給

坂東市

神田囃子保存会

詳しくは
コチラ

地区の八坂神社祭礼のみこしのおはやしである。「屋台」「昇殿」「かまくら」「仕丁目」「神田丸」の五囃子を大太鼓、小太鼓、鉦、笛で演奏する。はやしの他に、開店の祝いなどに神楽を演じることができる。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

坂東市

猿島ばやし保存会

詳しくは
コチラ

昔から囃子のみで手振り等はない。御輿の前を先導する形で、万灯、花籠を従え、集落内を練り歩く。行列の進行、祭典の状況により16種の曲目を使いわけて演奏する。大・小太鼓、鼓、笛、鉦を用い、10～12人で囃子連が構成される。周辺の集落にも部分的に伝承されており、それぞれに保存会が結成され、活動している。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

お囃子

踊り

太鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

境町

い ぐさ おお すぎ ばやし ほ ぞん かい
井草大杉囃子保存会

詳しくは
コチラ ←



創設は江戸時代であり、創設から250年が経過しています。集落の香取神社の祭典である2月の辻止め、7月の夏祭りとして五穀豊穡・家内安全を祈ってお囃子を行っています。7月の祭典の前に毎週土曜日に練習を大人・子ども合同で行っています。

お囃子の演目は、からすばやし・はやしゃんぎり・こしゃんぎり・その他10曲ほどあります。

発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時期問わず・昼・土日祝日・要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

水戸市・日立市・常陸大宮市・土浦市

いばら き けん かく りゅう に ほん ぶ よう かい
茨城県各流日本舞踊会

昭和42年県芸術祭開始の時から毎年10月県文化センターにおいて、日本舞踊大会を実施しています。2021年は55周年の年でしたがコロナ禍で中止になりました。

発表場所

市内

発表施設

屋内

発表可能時期

-

発表対象

大人

謝礼

-

水戸市

茨城大学よさこいサークル海砂輝

- ・よさこいを演舞する。
- ・学内だけではなく、老人ホームや地域の祭りでオリジナル曲や、総踊りの演舞をしている。

発表場所

日本全国

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

問わない

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

那珂市

那珂市伝統文化日本舞踊こども教室

詳しくは
コチラ

文化庁の「伝統文化をこどもに」という主旨のもと日本舞踊のすそ野を広げようと那珂市の高校生から幼稚園生までに日舞の古典の基礎を中心に、稽古を続けています。こどもの他に大人も体験教室を市主催で行っています。地域の舞踊発表会、文化祭、2019年は那珂市の国体前イベントにも出演しています。

発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

潮来市

潮来藤究会

詳しくは
コチラ ←

当該団体の設立は平成20年であり、創設から12年が経過している。江戸時代より「藤娘」の一節に潮来を設けられるなど、潮来の地発祥の唄や日本舞踊も数多く伝えられており、あやめ祭り、月まつりに出演するなど年間10件の公演を行っている。演目は古典の「さくらさくら」から、現代の「糸」「おぼろ月夜」など、古典から新舞踊、男踊りもある。市から依頼の外国人への体験舞踊も行っている。



発表場所

日本全国

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

土浦市

久美浦会 日舞子供体験教室

詳しくは
コチラ ←

昭和53年 土浦市大手町に日本舞踊稽古場を久美浦会として開設40年以上になり現在に至る。その間3年～4年の間隔で土浦市民会館にて発表会を開催し、すでに12回を数えました。

又、個人的には 東京の国立劇場で開催の報知新聞社主催の華扇会や東京新聞主催の推薦名流舞踊大会などに度々出演して参りました。

その後15年程前から文化庁の伝統文化子供教室に参加、土浦市内の子供たちに声かけ 集まって頂き、易しい踊りを楽しみながら稽古し、毎年土浦市の文化祭に参加して発表しています。

代表 若柳 久美穂



発表場所

土浦市近辺

発表施設

文化ホール等の屋内施設

発表可能時期

土日

発表対象

問わない

謝礼

発表状況に応じて

土浦市

桜川流江戸芸かっぽれ后希会

かっぽれの原型は大阪住吉大社で奉納されていた「住吉踊り」といわれています。

江戸に下って浅草寺で大道芸としてはじめてのが「かっぽれ」のはじまりとされています。庶民の人気となり、踊って楽しく、見て楽しい、日本人の心の豊かさを現わすことができる、粋でいな勢な踊りです。

伝統芸能「かっぽれ」を次の世代に伝承を願い活動しています。



発表場所

茨城県内

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時期問わず

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ支給

土浦市

穂踊会

歌謡曲に振り付けた踊りを楽しみながら練習してボランティアに時々出掛けて踊っています。



発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

問わない

発表対象

高齢者、外国人観光客

謝礼

無償

お囃子

踊り

太鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

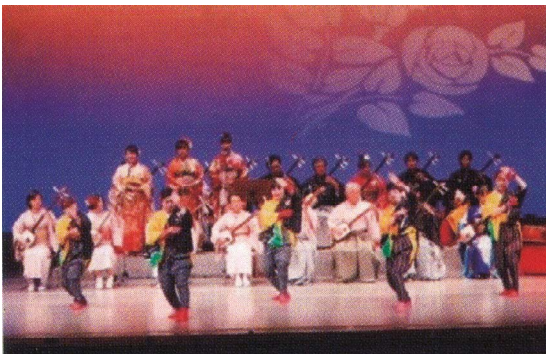
演劇

能

その他

土浦市

美重の会



美重の会は主に、津軽舞踊・南部舞踊を主として稽古しております。

土浦市の文化祭、施設訪問、色々なクラブのイベント等にお声を掛けて頂いております。

発表場所

土浦市近隣

発表施設

屋内

発表可能時期

問わない

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

龍ヶ崎市

龍ヶ崎舞踊協会

龍ヶ崎舞踊協会は、17団体が所属しております。

日本舞踊、新舞踊、民舞等、各団体が持つ技術を磨いて稽古に励み、毎年1回、「チャリティー舞踊まつり」(25年間)として、市内の文化会館で発表を行っております。



発表場所

問いません

発表施設

屋内・屋外は問いません

発表可能時期

昼間(必要に応じて夜間でも良い)

発表対象

問いません

謝礼

基本的には無料、場所が遠方の場合にはバス代等

龍ヶ崎市

龍ヶ崎民踊クラブ

茨城県内の民踊、又は全国の民踊の、伝承と継承の為、各地の踊り、地元の踊りを、毎週木曜日に練習を行っております。

特に当市で長年踊り継がれております、竜ヶ崎さんやれを、伝統文化として継承していきます。
また、東京五輪音頭-2020-も練習しており、東京オリンピックを盛り上げてまいります。



発表場所

問いません

発表施設

屋内・屋外は問いません

発表可能時期

昼間(必要に応じて夜間でも良い)

発表対象

問いません

謝礼

基本的には無料、場所が遠方の場合にはバス代等

龍ヶ崎市

龍ヶ崎柳栄会

嘉永2年に初代花柳芳次郎(のちに初代花柳壽輔)によって創立され現在5代目まで続く日本舞踊最大の流派 花柳流を龍ヶ崎市を中心とした近隣市区町村から広く会員を集め稽古、発表をしております。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

牛久市

にほんのよるこび 日本のおどり 崑座



日本舞踊を基本に、創作や民舞等、古くて新しいものを求めて楽しく学んでおります。中学生から80代までの会員が、「助け合い、励まし合い、分かち合う!!」をモットーに、地域のお祭りやイベントに積極的に参加しています。

発表場所

日本全国

発表施設

屋内

発表可能時期

土日祝、内容により大人のみなら平日可能

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ支給

牛久市

にほんのよるこびぎ 日本のおどり 崑座キッズ

詳しくは
コチラ ←



華扇流二代目華扇崑れは(流祖は花柳流) 主宰。古典・創作・民舞等の日本の踊りを学び、伝統芸能継承を目的に、約15年活動を続けており、年間約20件の公演を行っています。地域のお祭りや敬老会、慰問等積極的に舞台活動を行っています。“助け合い、励まし合い、分かち合い”がモットーです。

発表場所

問わない

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

牛久市

花柳親駒会



伝統文化が消えてゆくようですが子供さん達に分かって頂きたいと発表会等で体験をしてもらっていました。

施設等々のボランティア(踊り)をしています。
市の文化祭に参加
年一度程度おさらい会をします

発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

日曜・午後

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ支給

牛久市

花柳流八重花会

詳しくは
コチラ

八重花会を発足してから今年で22年目を迎えます。

H17年度からH28年度まで伝統文化子供教師をさせていただきました。

発足してから毎年市のカップ祭り参加市の文化祭や団地の文化祭敬老会にも出演してもらっています。



発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

時期問わず、土日祝、昼間

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談(お弁当代程度)

稲敷市

稲敷^{いな しき}たから音頭^{おん ど ほ ぞん かい}保存会

保存会として立ちあげて40数年になります。最初は市の音頭を主に踊っておりましたが現在は音頭の他に歌謡舞踊を若柳流の先生に指導していただいております。活動は市や学校のイベントや老人ホームのボランティアに参加しております。

発表場所

稲敷市周辺

発表施設

屋内

発表可能時期

11月～3月、土日午後

発表対象

対象を問わず

謝礼

5万円程度(団体あたり)

かすみがうら市

かすみがうら^{にち ぶ こ ども たい けん きょう しつ}日舞子供体験教室

文化庁の伝統文化親子教室事業として平成28年度から、かすみがうら日舞子供体験教室をはじめ4回開催する。児童邦楽舞踊、童謡、唱歌などにあわせて踊って楽しんでいます。教室は月2回、13回 発表会は1回しています。

市の舞踊発表者会に出演、又、古民家椎名家(重要文化財)公開日に参加しています。

子供たちが五感をかんじる、心豊かな子供たちになって欲しいと考えています。

発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

12月初、3月下

発表対象

子ども

謝礼

要相談

かすみがうら市

わか うら りゅう わか うら かい 若浦流若浦会かすみがうら支部

日本舞踊をみんなで勉強、発表を行っております。

現在は新舞踊が多くなってきており演歌の曲に合せた踊りが中心になっています。

さらに発表の場を作っていただければありがたいです。



令和元年9月14日 若浦流若浦会舞踊公演 亀城プラザ文化ホール

発表場所

日本全国

発表施設

屋内

発表可能時期

問わない

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ支給

つくばみらい市

か ひろ かい 賀博会

舞踊の会を立ち上げたのは、昭和55年で、昭和63年に第1回おさらい会を開き、今年で37回目の発表会予定でしたが、コロナでとりやめとなりました。活動内容としては、毎年舞踊部の会で浅草公会堂に出演、つくばみらい市、取手市の文化祭、賀博会おさらい会(自分の会)、色々な高齢者の団体に出演するなど



発表場所

市内・近隣市町村・関東地方

発表施設

屋内

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

必要な代金のみ

お囃子

踊り

大鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

つくばみらい市

きぬ わか りゆう わか ま ち かい
絹若流 若麻知会

かつて「正派若柳流」に在籍していましたが、国立大劇場において開催される「華扇会」の10回出演の表彰を受けたのをきっかけに故郷に戻り本格的歌舞伎舞踊を普及させようと平成8年「絹若流」を創流創設しました。小さなお子様から一般の方たちも花唄、清元、常磐津等の踊りを勉強しており、三年毎の本衣裳つけての発表会や毎年開かれるおさらい会、市の文化祭などにも出演しております。



発表場所
市内・近隣市町村

発表施設
屋内

発表可能時期
昼・土日祝日

発表対象
対象を問わず

謝礼
要相談

阿見町

あけぼの めん ぶ かい
曙面舞会



曙面舞会は、結成以来25年が経過し阿見町伝統文化協議会に加入し毎年町の伝統芸能発表会に出演し好評を博しています。特に恵比寿・大黒様・獅子舞は慶事や新年の出演依頼が多く会員の志気を高めています。

発表場所
茨城県内、近隣市町村

発表施設
屋内外問わず

発表可能時期
時期問わず デパート等新年イベント

発表対象
対象を問わず

謝礼
基本は無償 町外は交通費のみ支給

利根町

さい ま おう しゅう ぶ よう だん 齊真桜舟舞踊団

齊真桜舟舞踊団は、3歳～名取まで総勢100名ほどの団員により構成されています。日本舞踊・新舞踊・民踊・詩舞・中国舞踊・インド舞踊・韓国舞踊・ジャズダンス・K ポップダンス・児童舞踊など様々なジャンルの舞踊を披露することができます。それぞれのイベントのニーズに合わせて敬老会・結婚披露宴・記念式典後のレセプション・クリスマス・企業の新年会など。出演依頼承ります。



発表場所

日本国内

発表施設

屋内

発表可能時期

土曜日・祝日

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費、応相談

古河市

こ が かぐら ほ ぞん かい 古河神楽保存会

詳しくは
コチラ

当神楽は、岩戸神楽・十二座神楽とも言う出雲流神楽。享保十年に鶴峯八幡宮へ伝来した神事で、神々による天地開闢から岩戸神話、日本の国を修り治め成し、国土安穩・天下泰平・五穀豊穰を願う姿を十二種の構成にて舞う。享保十三年の初奉納から現在まで、一度も途切れる事無く伝承する。途中、神主のみでの奉納が困難となり、昭和四年中田神楽保存会を結成、現在は発展し古河神楽保存会と称するに至る。更には、地域伝統文化の周知と伝承の為「伝統文化こが神楽親子教室」を開き、小学校や市民ホール等での体験授業や発表会を実施している。



発表場所

関東地方、近県など

発表施設

文化ホールなどの屋内施設

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

発表状況に応じて

お囃子

踊り

大鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

常総市

日本舞踊 西川流寛美会

当団体会主が師事する西川流は、江戸時代元禄文化より継承されており、日本舞踊において最古の流派です。十代目宗家である西川扇蔵は重要無形文化財保持者（人間国宝）として認定されています。

西川流寛美会は、地元常総市にて9月に芸術文化のつどい、11月に芸能祭へ参加しています。この芸能祭は伝統文化事業として47年続いています。また、近隣の守谷市で7月や11月に催される芸能祭、坂東市では6月の民謡舞踊まつり、年に一度は会津若松市で浴衣ざらい、4年に一度ある発表会等で舞台に出ています。



発表場所

関東地方

発表施設

文化ホール等の屋内

発表可能時期

土日

発表対象

問わない

謝礼

要相談

日立市

日立太鼓連盟

日立太鼓連盟は、市内のお囃子保存会、太鼓保存会や創作太鼓の会のメンバーが平成10年に日立太鼓連絡会として発足し、平成11年に現在の日立太鼓連盟に改め現在に至っています。平成12年に、加盟団体の全員で演奏が出来る曲として合同曲「さくら太鼓」を会員の手で創作し連盟の公演の際に演奏し、好評を得ています。平成13年に、連盟のシンボルとして、山車をつくろうとなり、各方面の協力と支援を頂き、『市民屋台さくら』が完成しました。その後は、日立さくらまつりには『市民屋台さくら』は平和通りを一般市民の参加を得ながら練り歩き、好評をいただいています。



発表場所

茨城県内、近隣市町村

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時期問わず、土日 加盟団体の都合による

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

水戸市

水戸太鼓保存会

詳しくは
コチラ

徳川御三家、水戸の第九代藩主徳川斉昭公は天保11年に戦の演習として「追鳥狩」を行いました。先陣の合図として打ち鳴らされた陣太鼓に水戸の太鼓の歴史はさかのぼります。水戸の太鼓の歴史を礎に新しい水戸の御上芸能として昭和48年に水戸太鼓が創作されました。曲は15曲のレパートリーを有し、曲の雰囲気は水戸の古き良き伝統と四季折々の情景を織り込んでおります。勇壮な曲、華やかな曲を折りまぜています。数年前より津軽三味線を取り入れて太鼓との競演を行い演奏の幅を広げています。



発表場所

茨城県内

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時期問わず、土日

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

ひたちなか市

やんさ太鼓保存会

詳しくは
コチラ



やんさ太鼓保存会は、昭和4年まで約300年に渡り、旧那珂地方48ヶ村を巻き込んだ「ヤンサマチ」と呼ばれる壮大な祭に思いを馳せ、昭和53年に勝田商工会議所青年部が中心となって発足しました。「ヤンサマチ」で行われた御神事で、各村を代表する馬が2里8町(8.7km)の砂浜を競走する様子を表したスピード感溢れる曲「やんさ太鼓」をはじめとし、様々な曲調のレパートリーを持ち、年間20回ほどのイベント等で、元気な20代のメンバーを中心に、皆さんと一緒に楽しめる演奏を披露しています。

発表場所

関東地方、近県(福島)などまで可能

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

休日

発表対象

対象を問わず

謝礼

5万円~10万円程度

お囃子

踊り

太鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

小美玉市

創作和太鼓集団みのり太鼓

詳しくは
コチラ



平成4年4月結成。打ち手の気持ちが溢れる魅力ある創作活動をしている和太鼓集団です。

オリジナル曲を中心に県内外での演奏活動、全国コンテスト・コンクールでの優勝及び入賞、4度の海外演奏活動などを経験し、近年は定期的な和太鼓コンサートや和太鼓ワークショップを企画・主催し、和太鼓文化の普及にも精力的に努めています。

◆ホームページ【みのり太鼓】 <http://minori-daiko.jimdofree.com/>

◆フェイスブック・インスタグラム・ユーチューブでも活動公開しています。

発表場所

関東地方、近県(福島)などまで可能

発表施設

文化ホール等の屋内、屋外ステージ

発表可能時期

土日祝日

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ支給～5万円程度

城里町

青山太鼓保存会

詳しくは
コチラ



本会は、平成4年から城里町を中心に活動を続けている、創作和太鼓集団です。発足当時から、本拠地のみならず広く他地域の皆様にも和太鼓の魅力を知っていただきたいと思い活動しています。現在は大人打ち手5名、子ども打ち手9名です。

和太鼓体験コーナーなどの設定も可能です(応相談)。

発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

土日祝日・要相談(希望日2ヵ月前まで)

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

東海村

東海太鼓保存会

平成4年に発足した東海太鼓保存会は、東海村内のお祭りや地域まつり、福祉施設での演奏を中心に活動しております。会員は小学生から社会人まで、楽しく練習や演奏活動を行っています。毎年4月には、地元「村松虚空蔵尊」での大祭で奉納太鼓を2006年より演奏しています。

和太鼓を通し、地元の皆さんとの交流等を深め、地域に親しまれる会として今後も活動していきたいと思っています。



発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

土日祝、学業休業期間は平日も要相談

発表対象

問わない

謝礼

要相談

土浦市

亀城太鼓

1977年、土浦市の七夕祭りの企画で土浦市をイメージするテーマを「水(霞ヶ浦)」「光(土浦全国花火大会)」「音」に決定され、音として和太鼓チームを立ち上げようと土浦独特の組太鼓として発足し、まつりつくばや小学校、保育所などで出演しております。



発表場所

関東近郊

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時期問わず

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

お囃子

踊り

太鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

取手市

ほんじん だいこ 本陣太鼓

詳しくは
コチラ

本陣太鼓は平成17年に結成、取手市在住の子育て中の主婦と子どもたちが中心となり活動しています。取手市の地域文化発展に貢献するべく、市内外のイベントや幼稚園、老人ホームなどの各種施設で演奏しています。

会主の故郷青森県の風物詩『青森ねぶた祭り』で演奏される『出陣太鼓』と『進行』を太鼓演奏の入り口とし、『お母さんでも子どもでも凜とした太鼓打ち』を目指し、主に創作太鼓を演奏しています。

『本陣』の名前にはこのねぶたの陣頭陣地と、皆の心の拠り所となる『我が家』のようでありたい、という意味が込められています。



発表場所

取手市近辺や茨城県内、関東近郊

発表施設

文化ホール等の屋内施設や、公園などの屋外

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

牛久市

うしく たいこ 牛久かっぱ太鼓



平成4年に発足し、今年で29年になりました。レパートリーは12曲ほどです。年間出演回数は15.6回ほどで、時には4か所を掛け持ちしたりと忙しくも楽しく活動を行っています。仕事をしている会員が多くなかなか全員そろって練習ができなかったりと様々な苦労もありますが、みんな太鼓が大好きなので工夫しながら頑張っています。

発表場所

市内・近隣市町村・茨城県内

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

土日祝日・通年

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

つくば市

常陸乃国ふるさと太鼓会

詳しくは
コチラ

昭和51年つくばの地に結成され、創立43年目を迎える歴史ある団体です。国立劇場での「日本の太鼓公演」、長野県善光寺本堂前での大太鼓演奏、国民文化祭2008のオープニングで寺内タケシ氏と競演等、数々の大舞台に出演してきました。

当会の公演でまず目を引くのは大きな太鼓。大きいものは1トンを超え、それを乗せて移動する山車もあり、勇壮豪快「五臓六腑に染み渡る」力強い演奏を特徴としています。

「プロにも負けない演奏!」をモットーに体全身を使ったダイナミックな動きに加え、バチ先の動きにまでこだわった華麗な演奏に磨きをかけています。



発表場所

日本全国

発表施設

屋内外 施設を問わず

発表可能時期

時期を問わず

発表対象

対象を問わず

謝礼

5~10万円程度(団体あたり)

つくば市

琉球國祭り太鼓 茨城支部

詳しくは
コチラ



沖縄に本部をもち、沖縄の伝統芸能エイサーをベースに、沖縄の古典曲やポップス曲を多く使用し独自の振り付けをし活動している創作エイサー団体です。沖縄アーティストの曲で共演の(BEGINさん、HYさん)機会もいただいています。1回約30分で沖縄のエイサーを披露しています。つくば市内商業施設まつりつくば他実績あり。(主につくば市を中心に他関東各地で活動中)

発表場所

茨城県内

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時間帯は相談の上1回30分程度

発表対象

問わない

謝礼

交通費~5万円程度

お囃子

踊り

太鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

守谷市

和太鼓友

詳しくは
コチラ

2011年結成、創作太鼓で、成田太鼓祭り、浅草太鼓祭り、関八州太鼓祭り、横浜、結城太鼓コンクール出場等々、守谷市内のイベントにて演奏をしています。



発表場所
日本全国

発表施設
どこでも

発表可能時期
問わず

発表対象
問わず

謝礼
交通費

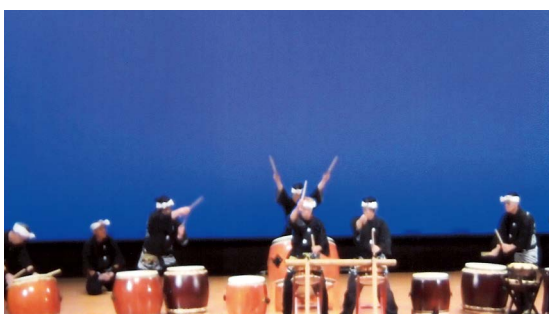
つくばみらい市

和太鼓華響

和太鼓華響は、つくばみらい市を活動拠点とし、県南地域を中心に演奏活動を行っている和太鼓の演奏グループです。

「新たな伝統文化の醸成」を目標の一つに掲げて、市内の文化祭や近隣のイベント等で毎年10回程度の演奏を披露しています。

伝統系、創作系など様々なジャンルの曲目を、5～10曲演奏することで15分から45分程度の演奏時間に対応します。



発表場所
茨城県内、近隣市町村

発表施設
屋内

発表可能時期
お盆、正月、GWを除く土日

発表対象
問わない

謝礼
交通費他、要相談

阿見町

なん ぺい だい わ だい こ 南平台和太鼓クラブ

詳しくは
コチラ

私たちは平成 16 年より新興住宅地である阿見町南平台にて結成されました。

当初は南平台に居住するメンバーだけでしたが今では近隣の村や、行政区からも参加しているメンバーもおります。

主に秋田の民謡太鼓を中心に月 2 回練習を実施しております。地元のふれあいセンター行事や周辺企業とのコラボレーションも含めて年間約 10 回程度の公演を実施している。



発表場所

茨城県内、近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

時期間わず、土日

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費(2~3万程度)

河内町

すい じん だい こ 粹人太鼓

創設 40 年余の太鼓団体です。つくば万博の際には寺内タケシ氏とコラボ演奏を行う。近年は主に町内や近隣市町村のお祭り、福祉施設に慰問演奏やハワイからの留学生に太鼓体験など学校行事等にも演奏しております。



発表場所

茨城県内

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時期間わず

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ支給

お囃子

踊り

太鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

水戸市

み と し さん きょく れん めい

水戸市三曲連盟

当連盟は昭和 39 年、茨城県民文化センターこけら落としの出演に当たり水戸市三曲連盟として発足しました。三曲とは箏および三絃（三味線）、尺八という三種の楽器を意味し「六段の調」や「春の海」などの合奏曲に加え尺八独自の曲（本曲と称する虚無僧曲）等々幅広いジャンルをカバーしております。

会員数は約 150 名で水戸市芸術祭や市のイベント等に参加、出演しており、また学校からの求めに応じて出前演奏や楽器体験などの活動も併せて行っております。

これを機会に皆様方からのお声かけをお待ちしております。



創造と伝統ある文化のまちに！ 第50回記念水戸市芸術祭
三曲各流演奏会 箏・尺八フェスティバル
曲目：八十年代獅子編曲 [平成30年6月17日 水戸芸術館ACM劇場]



発表場所

茨城県内

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

時期問わず・昼夜・土日祝日・平日

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ

ひたちなか市

邦楽サークル“風雅”

詳しくは
コチラ ←



平成 14 年に発足した箏・三味線・尺八の団体です。ひたちなか市を中心に活動し、古典から現代曲まで幅広いジャンルを演奏します。特に古典の継承には力を入れており、子供達が着物で正装して演奏を行います。礼儀作法、着付の練習など、伝統を未来へ繋ごうと日々努力しています。

演奏曲目(例)

「六段調」「落梅」「菊水」「ひぐらし」「百々花火」「さん・さん・さくら」他

発表場所

茨城県内、近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

発表会以外の月 3ヶ月前に連絡迄

発表対象

対象を問わず、イベント等

謝礼

要相談

那珂市

きん でん りゆう たい しょう こと こう きょう 琴伝流大正琴孝響ハーモニー

那珂市を中心に演奏活動をしています。令和元年は市ふれあいコンサート、市文化祭、公民館まつり、茨城県大会、なかひまわりフェスティバル、県植物園ハロウィンコンサート、大正琴クリスマスコンサート等、その他、老人ホーム、デイサービス等のボランティアコンサートや各地区からの依頼があれば、地域貢献のために積極的に活動しています。1年に1度団体独自の琴伝流大正琴孝響ハーモニー定期演奏会を開催しています。どうぞよろしくお願ひ致します。



1年に1度団体独自の琴伝流大正琴孝響ハーモニー定期演奏会を開催しています。どうぞよろしくお願ひ致します。

発表場所

茨城県内、関東近郊

発表施設

問わない

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

那珂市

ハープスターズ

演奏活動(コンサート開催、イベント出場、慰問) 大正琴、文化箏(箏の1/2の大きさ)、アンサンブル・二胡・ピアノ、クラシック、民謡、ポピュラー、演歌など様々なジャンルの曲を演奏します。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

土浦市

土浦三曲会

土浦三曲会は発足以来、45年目になります。
 県南地域で日本の伝統文化である箏と三絃と尺八の伝統文化を大事に守り、後世につなげるべく活動を続けています。現代曲から古典まで各社中の師範の指導のもと練習に励み、その成果を年2回演奏会で発表しています。



邦楽発表会 令和元年11月10日

発表場所
茨城県内

発表施設
屋内

発表可能時期
時期問わず

発表対象
対象を問わず

謝礼
要相談

取手市

取手市文化連盟水野箏曲会

第23回国民文化祭いばらき2008に参加。この時「伝統文化取手小中学校クラブ」として取手市内、小中学生45名を参加させる。岡山、山梨、秋田、愛知、奈良、別府、新潟国文化祭参加。H26「全国高校総文化祭いばらき2014特別演奏」文化庁次世代に次ぐ舞台芸術発表に毎年参加(取手市内小中学校) H30「好文の梅・華麗なる桜・春の一日“箏”の花を咲かせます」と題して近代美術館第2回ミュージアムコンサートに参加。他取手市文化祭毎年参加(45回)

発表場所
茨城県内

発表施設
屋内

発表可能時期
要相談

発表対象
対象を問わず

謝礼
要相談

牛久市

そう きやく けん きゅう しつ

箏曲研究室みやび

代表の藤田高子は生田流沢井箏曲院師範で、故沢井忠夫氏や沢井一恵、沢井比河流氏に師事しています。平成元年から箏曲研究室みやびを主宰し、牛久市文化協会会員並びにうしく音楽家協会会員として地域の文化活動に協力参加すると共に沢井箏曲院の演奏会や自主企画のコンサート活動を積極的に開催すると共に、文化庁主導の伝統文化親子教室事業に8年連続参加して延べ約300人の小・中学生・保護者を教育してきました。

さらに、牛久市並びに茨城県の社会福祉協議会に登録して、毎年老人ホームなどでボランティア演奏を行っています。



発表場所

近隣市町村が希望ですが、水戸市内も対応します

発表施設

公文協加盟の文化ホールが希望ですが、近隣市町村の場合はホール付きの公民館等でも結構です

発表可能時期

春(3月~5月)、秋・冬(11月~12月)

発表対象

不問

謝礼

交通費と弁当代

つくば市

つ がる しゃ み せん ふく せい かい

津軽三味線福静会

津軽三味線で民謡を楽しんでいただく活動しております。茨城県福祉協議会のシニアマスター制度に登録してからは高齢者施設や自治会の催事などの依頼が多くなり、年間20件程度の民謡活動を行っております。

年間行事として、つくば市文化祭、荃崎夢まつり、熱海市民文化祭、JR東海民謡クラブや全国鉄道民謡連盟の大会に出演しております。



発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

主催者の希望を主に決定

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

つくば市

ふたつ葉会

詳しくは
コチラ

ふたつ葉会は、生田流箏曲正絃社つくば教室の会です。
 普段は個別のレッスンですが、年に何度か機会を設け、大合奏にも力を入れています。
 これまでにつくば市民文化祭、都山流尺八楽会茨城県支部演奏会、子ども伝統文化フェスティバルなどに出演してきました。
 伝統的な和の雰囲気箏曲のほか、唱歌やポップスなどにもレパートリーも広げ、皆さんに箏の音色を楽しんでもらえることを目指しています。



発表場所
問わない

発表施設
問わない

発表可能時期
問わない

発表対象
問わない

謝礼
要相談

阿見町

日本総合伝統芸能集団 井坂斗絲幸社中 喜楽座



津軽三味線井坂流家元／公益財団法人 日本民謡協会公認、民謡・三味線師範教授 井坂斗絲幸師が率いる若手伝統芸能集団です。
 津軽三味線・和太鼓・舞踊・唄・お箏など日本伝統芸能を総合的に演じます。総勢 100 名以上による大ホールでの迫力の合奏から少数精鋭による学校公演や老人ホームの慰問まで様々なステージを手がけています。その熱気とパワー溢

れる感動のステージが好評を博し、国内外で活躍中です。

発表場所
全国

発表施設
屋内外問わず

発表可能時期
時期問わず

発表対象
対象を問わず

謝礼
要相談

水戸市他

いばら き けん さ どう れん ごう かい

茨城県茶道連合会

表千家、裏千家、江戸千家、石州流、遠州流、表千家不白流、煎茶道東阿部流、大日本茶道学会の茶道8流派が加入して活動している。

芸術祭、各地催事添釜、野点や室内、学生（幼児から大学生）に対する出前講座、指導も行っている。



発表場所

市内・近隣市町村・茨城県内

発表施設

屋内外を問わず（雨天時不可）

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

東海村

くろ さわ むつ こ さ ゆう かい

黒澤睦子茶游会



多くの方にお茶の楽しさとおいしさをお伝えしたく、地元のイベント、体験教室等に参加している。型にはまらず気軽に伝統文化を広めていきたい。

発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

お雛子

踊り

大鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

牛久市

さ どう うら せん け せい わ かい
茶道裏千家清和会

清和会は発足して24周年目となりました。牛久市の文化祭およびひな祭りの際に茶会を催して参加したり、さまざまな席で大勢の方におもてなしをして楽しんでいます。



発表場所

市内・近隣市町村

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時期を問わず

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

つくば市

つくば がく いん だい がく おもて せん け さ どう ぶ
筑波学院大学 表千家茶道部

表千家の指導者の下、稽古をしている。
希望者は茶道のお免状を取得し、学園祭や留学生の交流会の場などでお点前を披露している。

発表場所

要相談

発表施設

要相談

発表可能時期

要相談

発表対象

要相談

謝礼

要相談

つくば市

つくば だい がく さ どう ぶ わ けい せい じゃく しゃ 筑波大学 茶道部 和敬清寂社

週二回お稽古を行い、先生にご指導いただいている。

文化祭の際など、年2回お茶会を行っている。

発表場所

要相談

発表施設

要相談

発表可能時期

要相談

発表対象

要相談

謝礼

要相談

かすみがうら市

かすみ がうら し ち だう ぜん ぎょう かい かすみがうら市 茶道連合会

平成8年に発足し、総合芸術の文化と言われている茶道を通して、日本の伝統文化の意識の高揚を図り地域文化の発展に寄与の目的で公的施設で34回の茶会を開催してきました。

和敬の心、おもてなしの心等を是非皆様に体験していただきたいと思います。

発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

問わない

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談(和菓子、抹茶代他)

お雛子

踊り

太鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

河内町

おもて せん け あお ば かい
表千家 青葉会

1年間で5月に自宅でお茶会を催し、近隣の方にお茶を楽しんでもらえるようにゆったりした席を二席用意している。11月は、町の文化祭に参加し、町民の方々に喜ばれている。会員相互には、1月の初釜、7月の朝茶と、お茶会を楽しんでいる。また、毎月3回のお稽古をしている。柏のお茶会の席を持ったりしているので、お茶会には慣れているので場所があればどこでも開催できる。

発表場所
日本全国

発表施設
屋内外問わず

発表可能時期
時期問わず

発表対象
対象を問わず

謝礼
要相談

つくば市

つく ば がく いん だい がく か どう ぶ
筑波学院大学 華道部

池坊の指導者の下、本学「さくらの間」(和室)にて華道を学んでいる。
学外華展や学園祭などに於いて作品を展示している。

発表場所
要相談

発表施設
要相談

発表可能時期
要相談

発表対象
要相談

謝礼
要相談

水戸市

水戸葵陵高等学校 (書道部)

詳しくは
コチラ

水戸葵陵高等学校書道部は全国高等学校総合文化祭に10年連続で出場し、うち全国2位にあたる文化庁長官賞など5回入賞を果たしています。書道パフォーマンス甲子園には関東2位の成績で2年連続出場。さらにG20 ウェルカムレセプションをはじめ、様々なイベントやNHKの番組でも華麗なパフォーマンスを披露。また茨城県事業で、フランス国エソンヌ県において書道体験やパフォーマンスを披露し、青少年の国際的な文化交流にも参加するなど精力的に活動しています。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

水戸市

靖秋会

民謡民舞の同好者の親睦、民謡民舞の保存、育成および普及を図り、文化の向上発展に貢献することを目的とし活動している。

主な演目は、茨城県の民謡、全国の民謡、津軽三味線の演奏。学校や子どもを対象とした体験学習の場合は、茨城県の民謡や民謡太鼓、尺八、篠笛、三味線の体験などを実施している。



発表場所

市内・近隣市町村

発表施設

屋内外を問わず(屋外テント等が必要)

発表可能時期

時期問わず・要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

お囃子

踊り

太鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

笠間市

お ばら ほ ぞん かい 小原ひょっこ保存会

大正3年頃、桜川市(旧岩瀬町)の久原のひょっこがルーツと言われ、昭和30年代盛大に行われていたが後継者不足で平成5年以来行っていなかった。

平成18年に有志により再度保存会が結成され現在に至っております。年数回JA、商工会のふるさと祭りやさくらまつり、老人ホーム等で出演しています。

ひょっこ、おかめ、きつね踊りの三部からなっております。



発表場所

市内・近隣市町村

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

昼・土日祝日・4~11月頃

発表対象

対象を問わず

謝礼

その他(弁当・お茶代等)

ひたちなか市

いそ ぶし どう じょう 磯節道場

詳しくは
コチラ

日本三大民謡の一つとされている磯節をはじめ、網のし唄や大漁節などの地元民謡、また、かつて関東の三大祭りとして有名だった「湊の八朔祭」の天満宮御祭禮屋台囃子は市指定無形文化財となっており、それらの実技伝承、後継者育成を目的として活動しています。また、チャリティーコンサートを開催して災害被災地へ義援金を贈るなど社会福祉功労団体としての表彰も受けています。今後も活動の幅を広げ、地域伝統文化の活性化に尽力いたします。



発表場所

日本全国

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

土日祝日

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

潮来市

津軽三味線 正絃会



当会は平成16年7月に結成され、各種イベントや舞台での出演等を中心に、伝統芸能の継承のために日本民謡・三味線教室を主催、潮来市高齢福祉課の依頼で、高齢者の皆様の「悠々塾民謡教室」の講師を務めております。

主に津軽三味線の演奏や日本民謡の唄など。

発表場所

関東近郊

発表施設

屋内

発表可能時期

問わない

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

土浦市

民謡 天心会

(社)日本郷土民謡所属 全国大会、各地大会など昨年磯節日本一を出しNHK出演。茨城県有志先生が椿山荘にて知事初め多数の先生方が集まり磯節を披露。文化協会、ボランティア他。

発表場所

関東近郊、茨城県内

発表施設

屋内

発表可能時期

問わない

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ、要相談

龍ヶ崎市

龍ヶ崎相撲甚句会

詳しくは
コチラ

江戸時代から唄われている相撲界の民謡です。相撲界の苦勞話や地域の名物等を平易な言葉で唄います。4～5人でかわるがわるドスコイの掛け声にあわせて唄うのが特徴です。現在は地元のお祭りや敬老会等に出演しています。



発表場所

県南地域

発表施設

文化ホール等の屋内

発表可能時期

問わない

発表対象

大人

謝礼

要相談

牛久市

牛久相撲甚句会

詳しくは
コチラ



相撲甚句は、江戸末期より大相撲の発展とともに親しまれ、今や相撲ファンと共に相撲の民謡として親しまれている。

当会は、横綱稀勢の里の角界入門同時期 (H14) に発足し、積極的な応援と共に会も盛り上がってきた。さらに普及発展に精進したい。

発表場所

茨城県内、近隣市町村

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

時期問わず

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ

阿見町

あみまちきみじまげいのうほぞんかい 阿見町君島芸能保存会

詳しくは
コチラ

君島芸能保存会は1968年6月1日の発足から53年が経過しています。1987年7月30日には阿見町民俗芸能無形文化財にも指定されました。

主に町のイベントへの出演、老人ホーム等慰問年間5回公演を行っています。

太鼓、笛、鉦によるおはやし演奏によるひょっとこ踊りであります。



発表場所

市内・近隣市町村・茨城県内

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

時期間わず・土日祝日・要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

利根町

とねじがたうた 利根地固め唄

詳しくは
コチラ



機械が無かった頃人力で堤防をつくる為、皆が動きをそろえられる様、地固め唄が作られた。当時の作業を唄を唄いながら披露します。

発表場所

茨城県内

発表施設

屋内

発表可能時期

時期間わず、土日

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ支給

水戸市

ときわ だい がく でん とう ぶん か けん きゅう かい 常磐大学 伝統文化研究会

詩吟剣詩舞（剣舞）を行う。他の伝統文化を調査したり体験したりする。

発表場所

要相談

発表施設

要相談

発表可能時期

要相談

発表対象

要相談

謝礼

要相談

潮来市

すい ふ りゅう ぎん どう ご ふう かい 水府流吟道吾風会

茨城県吟詠剣詩舞総連盟に所属し、その中で大会やコンクール、芸術祭等に出演。

日本コロムビア（株）吟詠音楽界に所属し、東北・関東地区、さらに全国大会に出演。

鹿行地区が主で老人ホーム等の慰問を月に1回あるいは2回位行っている。

その他チャリティー大会等実施して、年に1度10万前後寄付しています。もう30年位やっています。

発表場所

茨城県内、近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

時期問わず

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談(基本は無償)

つくばみらい市

常総一穂会

常総一穂会は平成7年に谷和原村（現つくばみらい市）に教室を開き、日本詩吟学院の詩吟を学び発表しています。つくばみらい市文化祭及び邦楽部の発表会に参加しています。内容は、和歌、俳句、近代詩、漢詩の吟詠です。特に郷土の偉人、間宮林蔵の生い立ちから海峽発見までを構成吟として発表しています。是非、多くの皆様に聞いて頂きたいと思います。

発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

2月～4月、9・10月、火曜～日曜、午後1時～

発表対象

対象を問わず、小中高等学校

謝礼

無償

結城市

一誠流吟研舎詩吟クラブ



芸術文化の振興発展と、各流・各会の親睦交流を期し、詩吟の価値を高め精神的醸成に努め中国・日本の古来よりの漢詩・和歌・新体詩・俳句などの基本を学び、伝統芸能としての吟詠普及向上につとめている。詩吟・詩舞・書道吟など、時節・時期に合わせ企画。直近では、NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」の明智光秀の「本能寺」の変を吟じた。本能寺の溝の深さをたずねたり、ちまきを手に持ち笹の葉ごと食ったり、「吾が敵は本能寺にあり（織田信長）」と叫んだが、光秀よ本当の敵は、備中にある「羽柴秀吉（豊臣秀吉）」である。そちらに対する備えこそ万全にせよと。作者（瀬山陽）に代わり一誠流が詩吟しました。

発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

時期問わず、9時～17時

発表対象

対象を問わず

謝礼

無償

茨城県内

茨城獅子頭彫刻研究会

研究会は石岡在住の彫刻家 来栖龍保先生の指導を受け、県内各地から参加していた人々が各地に支部を作り活動するようになった。現在ひたちなか市、茨城町、美野里、石岡市、土浦、土浦みなみ、阿見の7支部があり、平成14年10月に統一組織として茨城獅子頭彫刻研究会を発足した。

本部は各支部が持ち回りで、展示会、祭りなどで活動するときは世話役となって行事を行っている。当会は獅子頭彫刻を、実習、研究を主とするが会員の中には祭りに関わる獅子舞、おかめ、ひょっとこ、などの神楽面などの演舞に熟練した人もおり、これら面の彫刻にも取り組んでいる。



発表場所

茨城県内

発表施設

屋内外を問わず

発表可能時期

土日祝日

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

大子町

浅川のささら保存会

詳しくは
コチラ

浅川のささらは、大子町大字浅川の熊野神社に伝わる獅子舞であり、江戸時代より約400年の伝統を受け継ぐ郷土の民俗芸能である。

獅子三頭は、太郎獅子、次郎獅子、女獅子と称し、10種の舞を奉納する。演技は、舞手3名と囃子方の笛吹4名の計7名により行われるが、この7名の新旧交代は、熊野神社20年毎の正遷宮祭典に際し行われ、新演技者は次の祭典までの20年間獅子に関する芸能の保存維持承継の責任を果たす習わしである。

浅川上・下の熊野神社及び真弓神社の氏子、趣旨賛同者では、保存会を結成して、この貴重な郷土芸能の保護と伝承にあたっている。



発表場所

市内・近隣市町村・茨城県内

発表施設

屋内外を問わず(雨天時不可)

発表可能時期

要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

かすみがうら市

太子囃子獅子舞保存会

詳しくは
コチラ



かすみがうら市を拠点に獅子と山車が一体となった幌獅子使った獅子舞を演じます。会員は子供を含む約 50 名、見たいとの要請に応え公共施設や福祉施設、県内外の会場にて無償ボランティアで演じます。

発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

土・日

発表対象

要相談

謝礼

無償

古河市

悪戸新田獅子舞

詳しくは
コチラ

「ササラ」とも称され、古河公方足利成氏(しげうじ)の命により、当地に流行した悪疫の平癒と退散を祈願して舞ったのが起源とされている。明治 43 年(1910)～大正 7 年(1918)の渡良瀬川の河川改修事業によって悪戸新田が河川敷となったため一時行われなかったが、昭和元年(1926)に流行した伝染病を契機に、翌年悪戸新田出身者によって保存会が結成されて復活した。毎年、夏の祭礼最終日(7月下旬)に市内約 30 か町を巡行する(古河市提供)。



発表場所

問わない

発表施設

問わない

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

お囃子

踊り

太鼓

琴・三味線

茶道・華道・書道

民謡・民舞

詩吟・剣舞・詩舞

獅子舞

演劇

能

その他

境町

つかぎき ししまい
塚崎の獅子舞詳しくは
コチラ

地元では「オシシサマ」と呼ばれ、五穀豊穡、天下泰平を祈願して、香取神社の祭礼の時に、斎庭で舞を奉納するものです。祭礼は毎年4月15日、7月15日、11月15日に開かれます。

発表場所

発表施設

発表可能時期

発表対象

謝礼

日立市

ひたちかいえんげきぶ
日立会演劇部

1948年、日立製作所の日立会文化部として創立、現在市民劇団として活動。6月、11月の年2回の公演活動、時代劇、現代劇、ミュージカルと幅広い活動をしている。1999年、東京・国立小劇場で上演。

また、宅配・飛び出し紙芝居!「かしら組」で施設慰問、出前公演を実施中。



発表場所

発表施設

茨城県内

屋内

発表可能時期

発表対象

謝礼

要相談

対象を問わず

要相談

常陸大宮市

にし しお こ まわ ぶ たい ほ ぞん かい 西塩子の回り舞台保存会

詳しくは
コチラ



平成9年に半世紀ぶりに復元をし、以後3年に1度の組立・公演を行っている。平成11年に地元若者で西若座を立ち上げ歌舞伎に励んでいる。

平成12年に地元小学校の協力により子供歌舞伎を指導、学校の発表会で発表をしている。

市内の子ども達を募集して常磐津教室を指導している。

発表場所

市内

発表施設

屋外

発表可能時期

昼夜問わず・土日祝日・10月頃

発表対象

子ども・大人

謝礼

要相談

牛久市

はつらつ一いち座ざ



発足して12年になるシニア芝居劇団で、今迄県南地域で42回の公演実施。茨城県「シニアマスターNo.2」に登録。地域のシニアに入場無料で舞台公演を実施し、楽しんで頂いて来た。約2Hの笑いと涙の人情喜劇。牛久コミュニティネットにHP有り。

発表場所

茨城県内

発表施設

文化ホール等の屋内施設

発表可能時期

場所を3日確保必要

発表対象

高齢者

謝礼

無償

東海村

東海能楽会

とう かい のう がく かい

1998年(21年前)、金春流／観世流の能楽愛好会として活動を始め、平成30年宝生流愛好家の加入を得て、宝生／金春／観世流の東海能楽会を結成した。主に、東海村文化祭、県芸術祭に出演する他、近隣での文化活動、高校の古典学習への協力、公共・福祉施設への慰問活動に取り組んでいる。
(東海村文化協会所属)



発表場所

近隣市町村

発表施設

屋内

発表可能時期

問わない

発表対象

問わない

謝礼

要相談

柏市

梅楓会

ばい ふう かい

梅楓会は2016年に私が主催した「常総チャリティー能」をキッカケに翌2017年より発足した能の稽古をする教室です。

私、下掛宝生流の能楽師 梅村昌功が教える教室で、皆さん楽しんで稽古されてます。

この会は稽古だけでなく、舞台に立つことも積極的に行っており、常総市、守谷市、柏市の文化協会の芸能祭に参加し茨城能楽連盟、柏能楽協会にも所属し、生徒さん達は他流の素人の方々と技を競う為、稽古に励み舞台に立っております。

その他、小学校の能ワークショップに参加し、子供達に能を紹介したり、東京から玄人の能楽師をお招きして薪能などの能楽公演を手掛けるなど能楽普及にも積極的に取り組んでいる会です。



発表場所

茨城県内

発表施設

屋内

発表可能時期

通年、昼間、平日

発表対象

子ども、高齢者

謝礼

交通費のみ支給

水戸市

大根むき花保存会

詳しくは
コチラ

昭和37年大根むき花保存会結成。

昭和50年水戸市無形民俗文化財指定。

大根をみずむき(かつらむき)してボタン・アヤメ・菊など包丁1本でほんものそっくりの花を作るもので、花卉は全部つながっているのが特徴。ボタン(花びらは40枚以上)の花を覚えるまでに約100本の大根を使うと言われる程きわめて高度な技法で水戸市元石川町のみにも口伝により伝承されているもので、130年以上の歴史がある。



水戸市植物公園、酒門小学校、特別高等支援学校、地元公民館まつりで毎年実演展示。NHKテレビ、新聞、雑誌等で多数紹介されている。

発表場所

関東地方、近県(福島など)

発表施設

屋内外問わず

発表可能時期

11月

発表対象

問わない

謝礼

交通費、材料費等実費+2万円程度

ひたちなか市

無比無敵流杖術保存会

私どもの杖術は関ヶ原の戦いにおいて九尺の槍を使い合戦中、槍先が折れ柄をもって奮戦し、その後水戸藩に仕え以後、この地を中心に伝承した。

明和、天明の頃から水戸藩の武芸者のみならず、民衆の自衛武術として近郷近在において栄え、昭和46年9月に、旧那珂湊市無形文化財指定を受け、現在は15代を根本憲一唯之が継承して、古武道の保存と振興に努めている。

〈流儀の特徴〉

- 1 構えは槍の操法が基本となり、身は半身、足は丁の字、打つと見せて引く、引くと見せて突く、突くと見せてさくる。
- 2 一に眼、二に気合、三に構え。
- 3 伝は以心伝心、千変万化、電光石化の一撃で倒す。



発表場所

日本全国

発表施設

文化ホール等の屋内、屋外ステージ

発表可能時期

他の大会に重ならなければ

発表対象

対象を問わず

謝礼

交通費のみ支給

お囃子
踊り
大鼓
琴・三味線
茶道・華道・書道
民謡・民舞
詩吟・剣舞・詩舞
獅子舞
演劇
能
その他

土浦市

つち うら とび しよく くみ あい

土浦鳶職組合

私たちは、土浦鳶職組合と申しまして、58年前に発会しました。鳶職の伝統技芸である木遣り、纏ふり、階子乗りなどを継承し地域社会の発展のためにも頑張っております。木遣り、纏ふり、階子乗りは、土浦市指定無形民俗文化財になっておりまして、土浦市消防出初め式や、土浦カレーフェスティバルで披露しております。木遣りは土浦市の新年賀詞交歓会や、結婚披露宴の新郎新婦入場の時などに歌っています。今年の茨城国体での開会式では、オープニングプログラムに、(一社)茨城県鳶・土木工業会として木遣り、纏ふり、階子乗りを披露します。



発表場所
茨城県内

発表施設
まつり・イベント

発表可能時期
要相談

発表対象
問わない

謝礼
要相談

つくば市

つくばさん こうじょうほぞんかい

筑波山ガマ口上保存会

詳しくは
コチラ

筑波山ガマの油売り口上は日本の大道芸を代表する芸能で全国的に知られています。現在、その伝統芸能はつくば市認定地域無形民俗文化財に認定され筑波山ガマ口上保存会はその「ガマの油売り口上芸」の伝承と保存を目的に活動しています。1769年頃、ガマの油売り口上を考案した初代永井兵助が誕生。現在その流れを継ぎ、第20代永井兵助を金野龍一名人が襲名しています。全国で110名の保存会会員が活動しています。つくば市の筑波山神社境内では土曜日曜祝日と参拝客、観光客、ハイカーにガマ口上を披露し皆さんに楽しんでいただいています。



発表場所
日本全国

発表施設
屋内外問わず

発表可能時期
要相談

発表対象
対象を問わず

謝礼
発表状況に応じて

つくば市、土浦市、常総市、那珂市

つくばさん あぶら う こうじょう けん きゅう かい
筑波山がまの油売り口上研究会

茨城県に江戸の昔より伝わります筑波山ガマの油売り口上（つくば市認定地域無形民俗文化財）がございます。この大道芸を後世に伝えボランティア活動を行うため平成12年（2000年）に研究会を設立し、主に県内のイベント（古河桃まつり・ひたち海浜公園・各所の桜まつり・道の駅や福祉施設等）へ参加するとともに無料の講習会を実施しております。地域の活性化や会場の盛り上げに利用してください。場所と時間に合わせて対応させていただきます。



発表場所
茨城県内・近県

発表施設
屋内外問わず

発表可能時期
時期・時間を問わず・要相談

発表対象
対象を問わず

謝礼
交通費のみ・要相談

つくばみらい市

くに して いじゅうよう む けい みんぞく ぶん か ざい お ばり まつ したり ゆう つ な び ほ ぞん かい
国指定重要無形民俗文化財 小張松下流綱火保存会

詳しくは
コチラ



小張松下流綱火は、毎年8月24日の小張愛宕神社の祭礼の日に、火難除け、五穀豊穰を祈念し、毎年奉納されてきた神事です。

綱火は愛宕神社の境内に櫓を組み、そこから3方向に柱を建てて、その間に綱を張り巡らせます。その綱を使って空中でからくり人形を操り、花火を仕掛けながら人形芝居を演じるものです。仕掛け花火による照明のなか、お囃子に合わせて演じる人形の姿は、とても幻想的です。

発表場所
市内・近隣市町村・茨城県内・近県・関東地方・全国

発表施設
屋外

発表可能時期
夜・通年

発表対象
対象を問わず

謝礼
要相談

お囃子
 踊り
 大鼓
 琴・三味線
 茶道・華道・書道
 民謡・民舞
 詩吟・剣舞・詩舞
 獅子舞
 演劇
 能
 その他

つくばみらい市

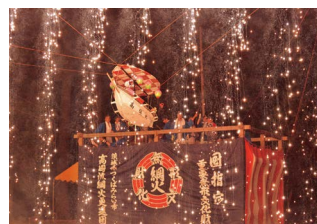
たか おか りゅう つな び こう しん だん
高岡流綱火更進団詳しくは
コチラ ←

高岡流綱火は、仕掛花火付き空中人形芝居とお囃子が一体となった操り人形劇で、国指定重要無形民俗文化財の指定を受けています。

約400年前の慶長18年(西暦1613年)愛宕神社の祭礼のときに大樹から赤と黒の蜘蛛が舞い降り、巣を作る様から村人が創作したと伝えられています。村人は、この蜘蛛は「神の使いであろう」との暗示を得て縄を用いてわら人形を操り、空中動作をさせて楽しみあったのが綱火の始まりで、これを愛宕神社へ奉納して高岡集落の安全を祈願しています。

最初は、花火も無くわら人形だけを操っていたとのことですが、たいまつ、提灯、火薬の伝来とともに花火を人形に取り付けるようになりました。仕掛け花火の演出に加え、笛や太鼓などの鳴り物と調和させ一層華やかなものとなっています。

演目は、二六三番叟、浦島龍宮入海辺花園、高岡丸之清遊、壮絶空中戦など数種類の演目があります。



発表場所

市内・近隣市町村・茨城県内・近県・関東地方

発表施設

屋外

発表可能時期

夜・土日祝日・要相談

発表対象

対象を問わず

謝礼

要相談

下妻市

しも つま し でん とう げい のう ほ ぞん れん ごう かい
下妻市伝統芸能保存連合会

土着伝統芸能の維持継承活動

発表場所

関東地方、近県など

発表施設

文化ホール等屋内施設

発表可能時期

時期を問わず

発表対象

対象を問わず

謝礼

10万円程度(団体あたり)

常総市

おおつかとげいのうぼぞんかい 大塚戸芸能保存会

詳しくは
コチラ

常総市大塚戸には江戸時代初期より連綿と続く珍しい花火がある。大塚戸の綱火として県の無形民俗文化財の指定を受けている。木偶に火薬を装備し、地上10mに張り巡らされた綱を利用し、空中を操り人形の如く火を噴かせ躍動させるのである。演目の一つ、鯉の滝登りでは、一匹の小さな鯉が突然7mの大龍に変化するというような工夫がなされ、地元では別名、からくり綱火とも呼んでいる。

演目は「那須の与一」や「安珍と清姫」など67種目に及ぶ。毎年、その中より一つ選び、趣向をこらして準備し、秋に行われる一言主神社の奉祝祭に奉納される。



発表場所

茨城県内

発表施設

野外ステージ

発表可能時期

夜

発表対象

問わない

謝礼

無回答

境町

さかいまちぶんかきょうかい 境町文化協会

みんようせんかぶ 民踊線歌部



民踊線歌は、民謡、舞踊、三味線、歌謡の合同名称です。

平成12年発足。民謡、歌謡新城流、舞踊坂東流・若柳流・若波流、三味線高橋流の門下のチャリティ発表会を平成13年より毎年開催しています。

チャリティ基金は、境町社会福祉協議会へ寄付しています。

発表場所

近隣市町村・茨城県内・近県

発表施設

屋内

発表可能時期

要相談

発表対象

大人

謝礼

要相談

県北地区		
日立市		
石名坂お囃子同好会	お囃子	1
日立太鼓連盟	太鼓	29
日立会演劇部	演劇	55
常陸太田市		
子ども天神ばやし保存会	お囃子	1
天神ばやし保存会	お囃子	2
北茨城市		
常陸大津の御船祭保存会	お囃子	2
大子町		
浅川のささら保存会	獅子舞	53
池田中囃子保存会	お囃子	3
常陸大宮市		
西塩子の回り舞台保存会	演劇	56
県央地区		
水戸市		
茨城大学よさこいサークル海砂輝	踊り	18
靖秋会	民謡・民舞	46
常磐大学 伝統文化研究会	詩吟・剣舞・詩舞	51
大根むき花保存会	その他	58
水戸葵陵高等学校(書道部)	茶道・華道・書道	46
水戸市三曲連盟	琴・三味線	37
水戸太鼓保存会	太鼓	30
ひたちなか市		
磯節道場	民謡・民舞	47
邦楽サークル“風雅”	琴・三味線	37
みなと八朔まつり実行委員会	お囃子	5
無比無敵流杖術保存会	その他	55
やんさ太鼓保存会	太鼓	30
那珂市		
瓜連おはやし保存会	お囃子	5
琴伝流大正琴孝響ハーモニー	琴・三味線	38
大助ばやし	お囃子	6
那珂市伝統文化日本舞踊こども教室	踊り	18
ハープスターズ	琴・三味線	38
小美玉市		
創作和太鼓集団みのり太鼓	太鼓	31
茨城町		
秋葉囃子保存会	お囃子	7
小幡ひょっとこ囃子保存会	お囃子	6
城里町		
青山太鼓保存会	太鼓	31
東海村		
黒澤睦子茶游会	茶道・華道・書道	42
東海太鼓保存会	太鼓	32
東海能楽会	能	57
笠間市		
岩間地方囃子保存会 八幡會	お囃子	3
小原ひょっとこ保存会	民謡・民舞	47
笠間稲荷ばやし保存会	お囃子	4
近森稲荷お囃子会	お囃子	4
鹿行地区		
鹿嶋市		
三鹿子ども芸座連	お囃子	7
潮来市		
潮来藤究会	踊り	19
水府流吟道吾風会	詩吟・剣舞・詩舞	51
県南地区		
土浦市		
亀城太鼓	太鼓	32
久美浦会 日舞子供体験教室	踊り	19
櫻川流江戸芸かっぱれ后希会	踊り	20
田宮囃子保存会	お囃子	8
土浦三曲会	琴・三味線	39
土浦鳶職組合	その他	59

穂踊会	踊り	20
美重の会	踊り	21
民謡 天心会	民謡・民舞	48
石岡市		
排禍ばやし保存会	お囃子	8
龍ヶ崎市		
貝原塚おこど囃子保存会	お囃子	9
龍ヶ崎相撲甚句会	民謡・民舞	49
龍ヶ崎舞踊協会	踊り	21
龍ヶ崎民踊クラブ	踊り	22
龍ヶ崎柳栄会	踊り	22
取手市		
取手市文化連盟水野箏曲会	琴・三味線	39
本陣太鼓	太鼓	33
牛久市		
牛久かっぱ太鼓	太鼓	33
牛久相撲甚句会	民謡・民舞	49
茶道裏千家清和会	茶道・華道・書道	43
箏曲研究室みやび	琴・三味線	40
日本のおどり崑座	踊り	23
日本のおどり崑座キッズ	踊り	23
はつらつ一座	演劇	56
花柳親駒会	踊り	24
花柳流八重花会	踊り	24
つくば市		
吉瀬三日月囃子保存会	お囃子	9
津軽三味線福静会	琴・三味線	40
筑波学院大学 表千家茶道部	茶道・華道・書道	43
筑波学院大学 華道部	茶道・華道・書道	45
筑波山ガマ口上保存会	その他	59
筑波大学 茶道部和敬清寂社	茶道・華道・書道	44
常陸乃国ふるさと太鼓会	太鼓	34
ふたつ葉会	琴・三味線	41
琉球國祭り太鼓 茨城支部	太鼓	34
六斗ばやし保存会	お囃子	10
守谷市		
和太鼓 友	太鼓	35
稲敷市		
稲敷たから音頭保存会	踊り	25
江戸崎囃子連	お囃子	10
かすみがうら市		
かすみがうら市茶道連合会	茶道・華道・書道	44
かすみがうら日舞子供体験教室	踊り	25
太子囃子獅子舞保存会	獅子舞	54
若浦流若浦会かすみがうら支部	踊り	26
つくばみらい市		
賀博会	踊り	26
絹若流 若麻知会	踊り	27
国指定重要無形民俗文化財 小張松下流綱火保存会	その他	60
常総一穂会	詩吟・剣舞・詩舞	52
高岡流綱火更進団	その他	61
和太鼓華響	太鼓	35
阿見町		
曙面舞会	踊り	27
阿見町掛馬芸能保存会	お囃子	11
阿見町君島芸能保存会	民謡・民舞	50
日本総合伝統芸能集団 井坂斗絲幸社中 喜楽座	琴・三味線	41
南平台和太鼓クラブ	太鼓	36
河内町		
表千家 青葉会	茶道・華道・書道	45
粹人太鼓	太鼓	36
利根町		
斉真桜舟舞踊団	踊り	28
利根地固め唄	民謡・民舞	50

県西地区

古河市		
悪戸新田獅子舞	獅子舞	54
古河神楽保存会	踊り	28
結城市		
一誠流吟研舎詩吟クラブ	詩吟・剣舞・詩舞	52
下妻市		
大町はやし	お囃子	11
下妻市伝統芸能保存連合会	その他	61
平方はやし保存会	お囃子	12
常総市		
大塚戸芸能保存会	その他	62
とんだやばやし保存会	お囃子	12
日本舞踊 西川流寛美会	踊り	29
筑西市		
上野お囃子保存会	お囃子	13
上町おはやし保存会	お囃子	13
櫻塚おはやし保存会	お囃子	14
下町おはやし会	お囃子	14
仲町祇園囃子保存会	お囃子	15
船玉おはやし保存会	お囃子	15
坂東市		
神田囃子保存会	お囃子	16
猿島ばやし保存会	お囃子	16
境町		
井草大杉囃子保存会	お囃子	17
境町文化協会 民踊線歌部	その他	62
塚崎の獅子舞	獅子舞	55

その他

水戸市・日立市・常陸大宮市・土浦市		
茨城県各流日本舞踊会	踊り	17
水戸市他		
茨城県茶道連合会	茶道・華道・書道	42
つくば市・土浦市・常総市・那珂市		
筑波山がまの油売り口上研究会	その他	60
茨城県内		
茨城獅子頭彫刻研究会	獅子舞	53
その他		
梅楓会	能	57

茨城県県民生活環境部生活文化課 文化振興グループ

電 話 029-301-2824

F A X 029-301-2848

E-mail seibun2@pref.ibaraki.lg.jp